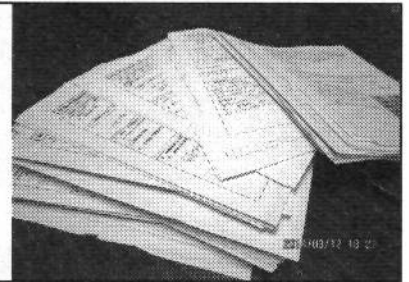




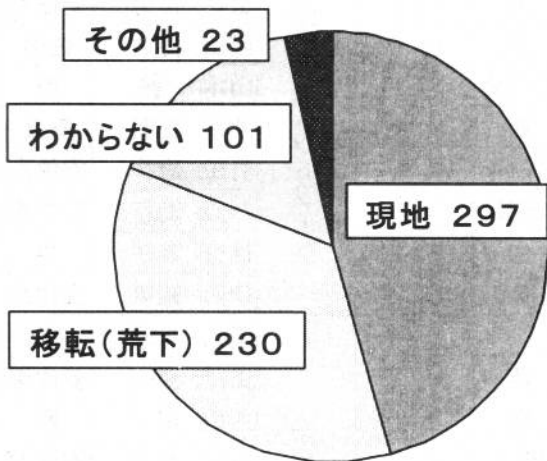
安佐市民病院建替え

アンケート結果をお知らせします。

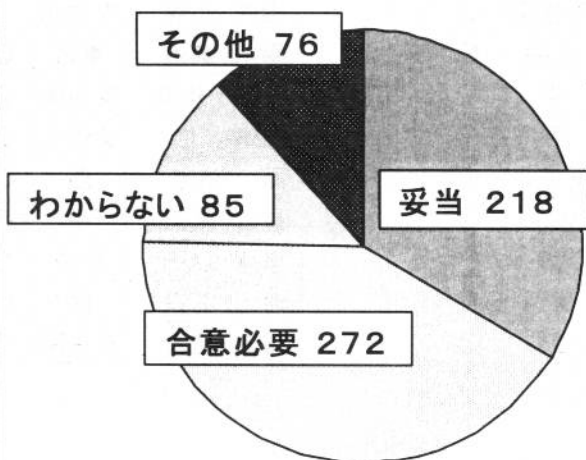
3月10日現在、651通の返信がありました。ご協力ありがとうございました。寄せられたご意見をもとに2月議会で質疑した内容をお知らせします。



建て替え場所について



基本計画策定の時期について



議会での質疑・答弁の概要

質問 現地建て替えと荒下地区への移転建て替えとの双方の立場の区民から、要望書や嘆願書が市議会に届き、地元は二分している。市議団が実施した安佐北区民への病院建て替えに関するアンケートでも、現地297、荒下230で拮抗している。地元合意は図られたと考えているのか。

答弁 移転反対の声は病院が移転したら周辺が寂れるとの不安や、高陽・白木地区からは、これまでの市政で軽視されてきたとの意見が表面化したと認識している。病院移転後の跡地周辺の活性化、高陽・白木地区の機能の充実を、責任を持って取り組むことを前提に、移転建て替えへの理解を求めている。

質問 現在地の南側の土地を病院の用地として確保できれば、駐車場が広がり現状の混雑や渋滞も解消できる新たな状況が生まれたが、それでも移転建て替えを選択された理由は何が。

答弁 現在地の建て替え工事は4年間にわたるため、期間中は敷地外の駐車場の確保に加え、工事車両の運行も加わった一層の渋滞、工事による振動や騒音等の発生が避けられず、患者にとって大きな負担になると判断をした。現在地での建て替えは、病院を建替えるだけにとどまるが、移転して建て替えた場合には、可部地区や安佐北区全体の活性化を図ることができる。

質問 北棟はまだ築22年、壊すのはもったいない。財政負担を極力減らすためにも、壊して建て直すのではなく耐震補強工事を検討すべきではないのか。

答弁 耐用年数も耐震性もある北館の活用のため南館の耐震補強を検討したが、工事で全館閉鎖となるため、1年8か月の工事期間中を、北館のみで病院運営することはできないため、耐震補強工事は困難と判断した。

質問 荒下に建替えれば可部の「まちづくりのため」に役立つというが、病院移転で地域がどの様に活性化するのか。

答弁 病院と直結するJR可部線の延伸と相まって、人の流れが変わる。可部中心部病院跡地には、新たな拠点施設を核としたにぎわいが創出でき、可部地区の活性化と拠点性が高まり、白木地区、高陽地区と病院をつなぐバス便の運行等により、可部・高陽間の東西の交通の強化、改善が図られる。

質問 ハザードマップは荒下は5m浸水としており、3mのかさ上げでは不十分。3mで安全性に責任が持てるのか。

答弁 荒下地区の敷地形状は、全体として北西側から南東側に向かって下がっており、なだらかに河川面につながる構造のためハザードマップでは、一番凹んでいる部分で5メートル浸水するとしている。堤防整備と区画整理事業によって、さらに盛土をすることから、平均で3mのかさ上げとしている。

質問 荒下地区の4万㎡の購入額、20億円はどんな根拠にもと

づくのか。正式な鑑定評価をしたのか。

答弁 荒下地区の正式な鑑定評価はおこなっていない。区画整理後の額が現時点では算定できないため、平成23年度の北側道路の路線価額、約5万円に取得予定面積4万㎡を乗じて、現在のところ約20億円を見込んだ。実際に用地を取得する際には、現在見込んでいる価格に拘束されることなく、鑑定評価に基づく価格で購入することになる。

質問 移転すれば荒下周辺の道路整備が優先され、可部大毛寺線や高陽可部線の整備が後回しになるのではないのか。可部大毛寺線と高陽可部線の整備は今後どのようなスケジュールですめるのか。完成時期はいつか。

答弁 可部大毛寺線・高陽可部線は完成時期の見通しがなかったが、安佐市民病院の建て替え検討を契機に、移転建て替えにし、現地建て替えにし、完成時期は病院の開設時期を踏まえたものとする。来年度、道路や橋りょうの設計を行い、事業認可を取得し、事業認可取得後は速やかに事業に着手し、早期の完成に向け取り組む。

安佐市民病院建替え問題

市議会も賛否拮抗



25対25

議長裁決で

移転案「否決」

安佐市民病院の建替え場所に関する議員の態度一覧表 ×現地 ○荒下

建替え場所の判断のため市議団が調査した比較資料

比較項目	現地	移転先(荒下)
医療機能	同じ	同じ
安佐医師会など医療関係者の意見	どちらでもよい	どちらでもよい
市議団の住民アンケート	297	230
建設費	314億円+南側の用地費	339億円
工期	4年	3年
駐車場	500台 (南側土地購入)	500台
交通アクセス	可部大毛寺線 高陽可部線	安佐北3区128号拡幅 太田川堤防道路拡幅
災害対策		かさ上げ・堤防工事
メリット		JR駅と直結
デメリット	踏切	高陽地区の患者減少

会派名	名前	選出区	賛否	
日本共産党	中原 洋美	南	×	
	村上 厚子	東	×	
	近松 里子	中	×	
自民党・保守クラブ (碓井議長を除く)	木島 丘	安佐北	×	
	平野 博昭	西	×	
	児玉 光禎	佐伯	×	
	金子 和彦	安芸	○	
	木山 徳和	中	×	
	佐々木寿吉	東	○	
	谷口 修		×	
	豊島 岩白	西	×	
	八軒 幹夫	南	×	
	三宅 正明	安芸	×	
	石橋 竜史	安佐南	×	
	森島 秀治	東	×	
	自民党	中本 弘	南	○
		種清 和夫	安佐南	○
熊本 憲三		安芸	○	
永田 雅紀		中	○	
山田 春男		西	○	
今田 良治		安佐北	○	
母谷 龍典		佐伯	○	
元田 賢治		南	○	
大野 耕平		西	○	
宮崎 誠克		佐伯	○	
山路 英男		東	○	
市政改革ネットワーク	月村 俊雄	西	×	
	土井 哲男	安佐南	×	
	藤田 博之	佐伯	×	
	山本 誠	西	○	
	沖宗 正明	安芸	×	
	竹田 康律	安佐南	×	
	八條 範彦	安佐南	○	
	馬庭 恭子	中	棄権	
	伊藤 昭善	安佐北	×	
	市民連合	酒入 忠昭	南	○
田尾 健一		安佐南	×	
太田 憲二		西	×	
若林 新三		安佐北	×	
松坂 知恒		南	×	
清水 良三		佐伯	×	
森本 健治		中	○	
山内 正晃		安佐北	×	
公明党		平木 典道	東区	○
		安達千代美	安佐南	○
	西田 浩	安佐北	○	
	原 裕治	西	○	
	星谷 鉄正	中	○	
	米津 欣子	佐伯	○	
	渡辺 好造	南	○	
	碓水 芳雄	安佐南	○	

日本共産党市会議員団の見解

日本共産党市会議員団は、安佐市民病院をどこに建て替えるかの判断にあたり、安佐北区分区民アンケート、他の政令市の状況調査、荒下の現地調査、安佐医師会との懇談、安佐市民病院の院長さんをはじめ関係者の話を聞くなど調査・検討を重ねました。

その結果、両案ともに、医療機能や財政面では変わりはない、現在地の課題とされてきた、駐車場不足や工期の長さ、踏切の渋滞は、南側土地を購入すればおおむね解消される見通しとなりました。

市長が「病院は集客施設だ」と答弁。病院の移転により、安佐北区のまちづくりと活性化を図ると言いますが、病院は医療施設であり、賑わい施設ではありません。

安佐北区のまちづくりをすすめると言うなら、地域や住民を二つに引き裂くようなやり方は、最もふさわしくありません。

説明会も二回しか開催されておらず、合意を図る努力が十分とはいえません。移転後の跡地利用策に取り組むと言いますが、何も決まっています。

このまま移転ありきですすめられれば、上から強引にまちづくりをすすめるという印象がぬぐえず、今後に遺恨を残すことになるかと危惧するものです。

市議団は、住民合意が不十分、荒下に移転しなければならぬ決定的な理由がない、荒下の用地購入額に根拠がないことから移転案に反対しました。

住民の声を反映する区住民自治協議会を

「安佐北区のことは安佐北区分民が決める」。これを基本に据えるべきです。市議団は、住民参加のまちづくりにむけて、区自治協議会の設置を提案するものです。